

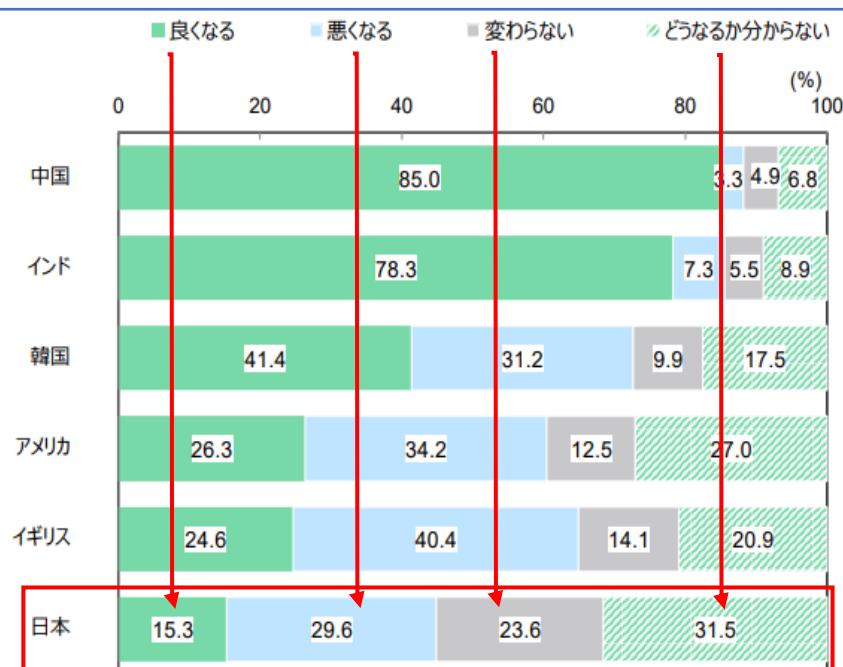


## いつから大人？成人の日を終えて思うこと

民法の改正に伴い2022年4月には成人年齢も18歳となりました。法律の改正はあったものの、成人については20歳の意識はまだわからないように思えます。しかし、選挙権などが18歳からとなり、社会的責任は求められています。成人について小学生はまだまだ遠いように思えるかもしれません、6年生にとっては6年後になります。決して遠い未来ではありません。

日本財団は、2018年10月より、18歳前後の若者の価値観、政治・選挙に対する態度、社会課題の理解などを継続的に調査（18歳意識調査）しています。その調査結果でとても気になる結果がありました。それは「第62回 国や社会に対する意識（6カ国調査）」報告書（日本財団2024年4月3日）です。自身と社会の関わりについてでは、他の5か国と比較してどの質問項目ともに低い状況にあります。「自分は大人だと思う」や「自分の行動で国や社会を変えられると思う」という項目で50%を割っています。日本人は謙虚であり自己主張をしないとも言われ、このような項目では数値が低くなると分析されることがあります、それでもこの数値の低さは大きな課題だと思えます。

(単位：%)	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
国や社会に役立つことをしたいと思う	64.3	78.4	77.7	93.6	71.1	85.9
自分は責任がある社会の一員だと思う	61.1	79.4	80.7	92.1	74.5	86.8
ボランティア活動に参加したい	60.4	76.3	68.6	89.8	70.5	79.2
慈善活動のために寄付をしたい	58.4	78.4	79.5	87.2	66.6	84.4
自分は大人だと思う	49.6	76.6	75.8	90.0	54.8	81.7
自分の行動で、国や社会を変えられると思う	45.8	65.6	56.1	83.7	60.8	80.6



左のグラフは「自分の国が将来について」の質問です。日本の数値が極端に悪い状況にあります。これらの調査結果が私たちの子どもたちに当たるわけではありませんが、概ね近い状況にあることが予想されます。これは子どもだけが悪いのではなく、学校教育や家庭教育の取組の影響が大きいと思います。

この結果を踏まえて改善のため学校でできること、各家庭でできることは何かを考える必要があると思います。

誰かが何とかしてくれると他人事のようにとらえず、主体的になること、当事者意識を持つことを子どもも大人も始めていくことが改善への一歩だと思います。